

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	令和5年度	事業者名	株式会社 サンウエスパ
補助事業名	水草の炭化を前提とする新たなエコシステムの構築		
補助事業結果概要	<p>・本プロジェクトでは、湖周辺で収集された水草を炭化し、得られたバイオ炭をきのこ栽培用の菌床に添加する手法の有効性を検証した。実証試験の結果、ある添加割合において収量と品質の向上が確認され、バイオ炭の活用が菌床の物理性改善や水分管理のしやすさに寄与することが示された。</p> <p>加えて、成分分析と味覚評価の結果からも、バイオ炭を用いたきのこが栄養面・風味の両面で高い評価を受ける傾向が見られ、機能性・付加価値の高い農産物としての可能性が示唆された。</p> <p>マーケティング戦略としては、環境意識が高く地元産品への支持が強い地域を主なターゲットとし、「環境に優しい高品質きのこ」として地域ブランドの確立を目指すことが有効である。これは、地域経済への波及効果を持つ取り組みとしても期待される。</p> <p>一方で、栽培環境によってバイオ炭の効果にばらつきが生じるケースも確認されており、安定的な成果を得るためには環境条件に応じた最適化が今後の課題となる。</p>		
本年度（令和6年度）の状況 ・技術開発等の状況を含む	<p>本事業では、水草由来バイオ炭の製造およびきのこ栽培への応用に関する一連の工程を実施した。以下に各作業工程の概要を記載する。</p> <p><u>1. 炭化工程に関する取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定地域に繁茂する複数種の水草を回収し、それぞれの種別ごとに炭化時の歩留まりを測定した。採取後は、所定の乾燥施設にて乾燥処理を行い、含水率を調整した後、別拠点にて水草の種別ごとに炭化試験を実施した。 ・さらに、炭化によって得られるバイオ炭がカーボンクレジットの排出権取得条件に適合するかどうかについては、専門の第三者機関に測定を委託し、基準への適合性を確認した。 <p><u>2. きのこ栽培に関する取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ炭の菌床添加効果を検証するため、自社内のラボスケール環境にて発芽試験を実施した。また、実際の商用栽培環境における応用可能性を評価するため、協力生産者の設備を活用し、培養および発芽試験を実施した。これにより、現場環境での有効性や実用性についての検証が行われた。 <p><u>3. 測定・分析に関する取り組み</u></p> <p>栽培されたきのこに対しては、以下の測定・分析を実施し、品質評価および安全性確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味覚測定（定量評価）：外部の測定機関に委託し、客観的なデータを取得 ・味覚測定（定性評価）：自社にて官能評価を実施 ・成分分析（栄養成分・有害物質）：第三者機関にて成分の安全性と栄養価を確認 ・菌床の成分分析：外部機関にて菌床の物理化学特性を評価 <p><u>4. マーケティングおよび副次試験に関する取り組み</u></p> <p>市場展開を見据えたマーケティング調査を自社にて実施し、消費者ニーズや販路拡大の可能性について検討した。 また、きのこ栽培後に発生する廃菌床の利活用を目的とした試験を実施した。</p>		
備考			